

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

≪試料・情報の利用目的及び利用方法≫	●研究の名称 子宮体がんにおける糖転移酵素の発現とがん悪性化所見との関係を調べる研究
	●研究の対象 2019年4月から2027年3月までに当院産婦人科で子宮体がん手術を受けられた方 100名
	●研究の目的 子宮体がんにおける糖転移酵素発現とその悪性化の研究により、子宮体がんの分子機構解明を目的とします。子宮体がんにおける糖鎖生物学の観点から悪性化機構メカニズムの解明を進めることにより、将来の診断におけるバイオマーカーの同定、分子標的薬開発の足掛かりとなるように臨床応用を目指していきます。
	●研究の期間 研究機関の長による実施許可日 から 2027年3月まで
	●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日
	●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。
≪利用し、又は提供する試料・情報の項目≫	●研究に使用する試料・情報 情報：病歴、治療歴、手術標本所見、カルテ番号 等 試料：手術摘出済みの検体
≪利用する者の範囲≫	●機関名および責任者名 浜松医科大学 柴田俊章

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

<p>《外国にある者に対する試料・情報の提供》</p>	<p>該当はありません</p>
<p>《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》</p>	<p>浜松医科大学 産婦人科学講座 柴田俊章</p>
<p>《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止(受付方法含む)》</p>	<p>あなたの試料または情報を研究に使用することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下《問い合わせ先》をご確認ください。</p>
<p>《資料の入手または閲覧》</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
<p>《情報の開示》</p>	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。</p> <p>また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。</p>
<p>《問い合わせ先》</p>	<p>〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学</p> <p>部署名： 産婦人科</p> <p>担当者： 柴田 俊章</p> <p>TEL： 053-435-2309</p> <p>E-mail： tshibata@hama-med.ac.jp</p>